

第4章 計画の基本的な考え方

1 計画の基本理念

本計画においては、下関市のまちづくりの基本指針である「第2次下関市総合計画」の保健・医療・福祉分野の将来像である「人と人が支え合う誰もが健やかで笑顔があふれるまち」を基本理念とし、人と人とのつながりを大切にして地域のみんなが支え合う地域福祉を推進します。

また、地域の特性を踏まえた地域福祉の推進を、地域資源の有効活用や地域の活性化につなげることにより、子ども、若者、子育て世代から高齢者まで、すべての市民が暮らし続けたいと思う「下関市」、子どもに住んでほしいと思う「下関市」を目指します。

基本理念

**人と人が支え合う
誰もが健やかで笑顔があふれるまち**

2 基本目標

計画の基本理念を実現するため、第3期計画を踏襲し3つの基本目標を設定します。

基本目標 1

ふれあいの人づくり

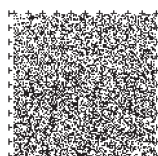
地域みんながふれあい、笑顔で支え合う心を育てよう

地域福祉を推進するためには、市民一人ひとりが地域への愛着と、人と人とのつながりを大切にする意識、自分自身が地域の課題を解決するという自覚をもち、主体的に活動に取り組むことが重要です。

また、下関市の将来を築いていく若い世代から、様々な経験を重ねている高齢者まで、すべての市民が地域福祉の担い手として活躍することが重要です。

市民がふれあい、お互いを支え合う心を育むため、市民同士が交流を深めたり、活躍できたりする居場所や機会づくりを推進します。

また、市民一人ひとりの地域福祉への理解を深め、地域の福祉課題・生活課題を解決するための行動を促すための啓発、学習機会の充実を図ります。



基本目標 2

ささえあいの輪づくり

地域みんなが連携し、お互いに助け合える仕組みをつくろう

社会経済情勢の変化に伴い、個人や家庭の中で複数の課題を抱えるなど、地域の福祉課題が複合化・複雑化している状況から、市民や地域の様々な主体がつながり、その課題解決に取り組むことが重要です。

困難な状況にある市民が、周囲から孤立することなく、必要な福祉サービスや支援を受けられるよう、市民、地域の活動団体、民生委員・児童委員、事業者、社会福祉協議会、市が連携を図り、地域で見守り、支え合うネットワークづくりを推進します。

また、地域の課題を解決する市民の活動を促すための環境づくりを推進します。

基本目標 3

あんしんの地域づくり

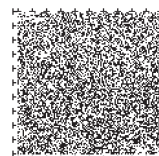
地域みんなが健やかに安心して暮らせる環境をつくろう

すべての市民が、健康で、住み慣れた地域で安心して暮らすためには、支援を必要とする市民が、必要な福祉サービスを適切に受けられる体制が必要です。

複合・複雑化した地域生活課題に対応するため、包括的な相談体制づくりを推進します。

また、子ども、高齢者、障害のある人等の各福祉分野のサービスの充実を図るとともに、必要な福祉サービスが適切に提供されるよう、福祉サービスを必要とする市民の把握、権利擁護、情報提供の体制の充実強化を図ります。

さらに、市民が安心して生活できるよう、災害時の要援護者の支援体制の整備を進め、地域の防災体制等の充実を図るとともに、誰もが暮らしやすく活動しやすい、人にやさしいまちづくりを推進します。



3 計画の体系

市民、地域、市、社会福祉協議会が一体となって「人と人が支え合う誰もが健やかで笑顔があふれるまち」の実現を目指し、下記の体系に沿って地域福祉を推進します。

